

問合せ先
第二管区海上保安本部
海洋情報部監理課長 田中
TEL 022-363-0111(内線 2510)

平成16年9月8日

**第133回水路記念日「海図って知っていますか？」パネル展について
～海図で見る仙台塩釜港の移り変わり～**

第133回水路記念日(9月12日)を迎えるにあたり、第二管区海上保安本部では、「海図って知っていますか？」と題したパネル展を仙台港国際ビジネスサポートセンター(愛称:アクセル)及び塩釜市生涯学習センター(ふれあいエスプ塩竈)にて、下記により実施します。

記

1 展示場所および実施日時

- (1) 仙台港国際ビジネスサポートセンター(愛称:アクセル)1階貿易展示室
実施日時:9月11日(土)、12日(日)の2日間、10時～16時
- (2) 塩釜市生涯学習センター(ふれあいエスプ塩竈)2階入口
実施日時:9月8日(水)～15日(水)の7日間
平日10時～18時(但し、月曜日は休館日)
土曜日及び日曜日10時～17時

2 展示内容

(1) 仙台港国際ビジネスサポートセンター

「海図って知っていますか？」～海図で見る仙台港の移り変わり～

海図

昭和46年に開港した仙台港は、海岸を掘り込んで造った港です。

この仙台港での工事を開始する前の昭和初期の様子、開港時の形、昭和後期及び現在の形について、その移り変わりがわかるように海図を展示します。

伊能図(複製図)

伊能 忠敬 は、日本全国を測量して歩き「大日本沿海輿地全図」を作製しましたが、その「大図」214枚のうち4枚の存在が確認されておませんでした。

この度、その4枚の模写図が海上保安庁海洋情報部所蔵の中から発見されましたので、その複製図を次のとおり展示します。

- イ 第12号 蝦夷 宗谷(現在の北海道北端の宗谷付近の図)
- ロ 第133号 山城 河内 摂津(現在の京都府南部、大阪府東部付近の図)
- ハ 第157号 備中 備後福山(現在の広島県東部付近の図)
- ニ 第164号 備後 安芸 伊豫今治(現在の広島県西部、愛媛県付近の図)

また、伊能図のうち宮城県付近の次の大図2枚も同時に展示しますので、現在の海図と比べて見ることができます。

イ 金華山近傍（現在の宮城県名取市から志津川町付近の図）

ロ 第47号 陸中之部（現在の宮城県気仙沼市から岩手県大槌町付近の図）

業務紹介

海洋情報部では、航海安全のための情報としての水路通報、海洋速報等の作成・提供、災害への対応としての海底地殻変動観測及び海洋環境の保全としての海洋汚染調査などを実施しており、それらの業務内容の一端を紹介します。

(2) 塩釜市生涯学習センター

「海図って知っていますか？」～海図で見る塩釜港の移り変わり～

海図

江戸時代から仙台の外港として発展してきたと言われる塩釜港は、明治以降はその形を大きく変貌してきました。

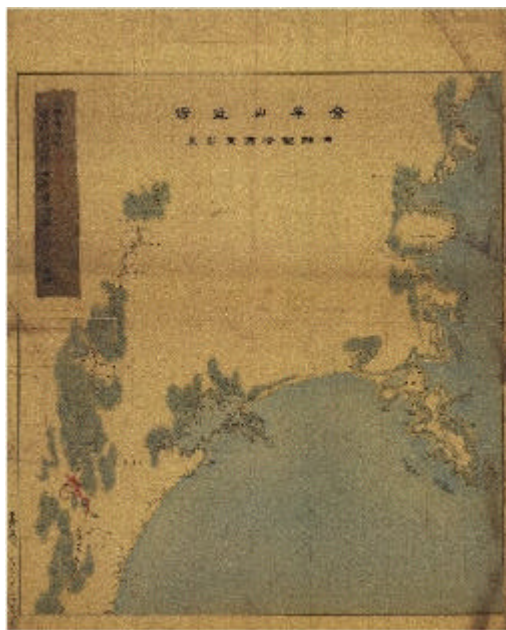
この塩釜港での最初の工事が開始された明治時代の様子、塩釜港という海図ができた昭和初期の形、昭和中期の形、航路が深く掘られ大型船が入港できるようになった昭和後期の形及び現在の形について、その移り変わりがわかるように海図を展示します。

伊能図（複製）

宮城県付近の次の大図2枚を展示しますので、現在の海図と比べて見るができます。

イ 金華山近傍（現在の宮城県名取市から志津川町付近の図）

ロ 第47号 陸中之部（現在の宮城県気仙沼市から岩手県大槌町付近の図）



伊能図（金華山近傍）



伊能図（陸中之部）

水路記念日について

1871年（明治4年）9月12日、明治政府は兵部省に海軍部及び陸軍部を創設し、海軍部に水路局を設置しました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局がはじめて誕生しました。